

生命医科学部 医生命システム学科
ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー

■ディプロマポリシー

学力の三要素/領域：下記の資質・能力を備えた学生に学士（理学）の学位を授与します

【知識・技能】

- ・生命現象や各種疾患とその治療・予防に関する知識を体系的に理解し、生命をシステムとして考えることができる。

【思考力・判断力・表現力】

- ・生命科学に関する体系的な知識を運用し、学術分野や社会における問題を自ら発見し、解決していく実践力を発揮できる。

【主体性・多様性・協働性】

- ・生命科学の知識と技術を医学分野へ適用し、身につけた問題解決能力を活かして社会に貢献できる。

■カリキュラムポリシー

1) カリキュラム総説

ディプロマポリシーでの資質・能力を備えるために、下記のカリキュラムを設けます

【編成・運営方針】

- ・生命医科学全般に関する体系的な知識を、学術的・社会的問題解決のために運用し社会に貢献できる人物を育成するために、必修科目および選択科目 A・B 群によって構成されるカリキュラムを設置する。選択科目 A 群にはⅠ類およびⅡ類を、選択科目 B 群にはⅠ類、Ⅱ類およびⅢ類を設置する。
- ・また獲得した知識を一般社会に簡明に伝えることができる能力を涵養するために、サイエンスコミュニケーター養成副専攻を設置する。サイエンスリテラシー科目群とコミュニケーター科目群を設置する。

2) 学力の三要素/領域

【知識・技能】

- ・必修科目では、生命現象や各種疾患の発症機構、その治療・予防に関する基本的知識ならびに実践的な技術を習得し、1年次から3年次にかけて講義ならびに実験科目 52 単位と4年次に卒業論文 4 単位を履修する。
- ・選択科目 A 群Ⅰ類は、必修科目で修得した基礎知識のうえにさらに高度な専門知識を習得させる科目群、ならびに医学、生命科学の応用科目群を配置し、幅広い分野に通用する知識を習得することを到達目標とし、演習内容を含む講義 20 単位以上を1年次から4年次にかけて履修する。
- ・選択科目 B 群は、1年次以降 20 単位以上を選択履修する。そのうち、Ⅰ類から、英語の実践的な運用能力を習得することを到達目標とし、1年次以降、少人数クラスの英語演習科目 8 単位以上を、Ⅱ類から、フランス語もしくはドイツ語の基礎的運用能力を習得することを到達目標とし、1年次以降、少人数クラスの初修フランス語もしくはドイツ語演習科目 4 単位以上を履修する。

【思考力・判断力・表現力】

- ・必修科目における実験科目では、これまでの講義で得た知識が機能的に効率よく結びつかせ、主体的に思考・判断できる能力の獲得をめざす。
- ・選択科目 A 群Ⅱ類は、生命科学と工学の融合分野において生命をより広い視点から理解する能力を習得するために、演習内容を含む講義を 1 年次から 4 年次にかけて履修する。A 群Ⅰ類と合わせ、A 群として 40 単位以上を履修する。

【主体性・多様性・協働性】

- ・必修科目における卒業研究では、これまでに獲得した知識ならびに思考力・判断力ならびに表現力の統合化による実践的かつ主体的な解決力の涵養を到達目標とし、実験とともに研究成果のプレゼンテーションを行う。
- ・選択科目 B 群Ⅲ類から、幅広いリベラルアーツや建学の精神などを習得することを到達目標とし、1 年次以降 8 単位以上を履修する。